

# 製造業の復旧・復興するための手順

## 継続対応

レベル	被害が「中」程度の場合……戦略2： 代替施設で継続する
状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建屋・設備に大きな被害がない。</li> <li>・ ライフライン・ネットワークに被害がない。もしくは復旧のめどが立っている。</li> </ul>
チェック	継続手順
	1 - 指定された担当者は、代替場所・受け入れ協力先へ移動する。
	2 - 代替場所・受け入れ協力先で、最優先業務(代表窓口・受注・出荷)の再開に向けて、必要な資源を準備・調達する。
	3 - 代替場所・受け入れ協力先で、最優先業務(代表窓口・受注・出荷)を再開する。
	4 - 関係先に現在の状況を報告する。
	5 - 最優先製造(最終工程・仕上げ、組立等)業務以外の外注・協力業者( )が対応可能か確認する。
	6 - 情報システム処理業務を再開し、必要なデータ抽出する。
	7 - 指定された担当者は、仕上げ業務、組立業務以外の外注・協力業者( )に対して委託する業務内容、納期、コストを確認する。
	(工程 1) 業務……………外注・協力業者( )
	(工程 2) 業務……………外注・協力業者( )
	(工程 3) 業務……………外注・協力業者( )
	8 - 外注・協力業者( )に必要なデータ(仕様、図面)を提供する。
	9 - 外注・協力業者( )に材料・支給品を発送する。
	10 - 代替場所・協力先で、(最終工程・仕上げ、組立等)業務の再開に向けて必要な資源を準備する。
	11 - 外注作業の(最終工程前までの製品)を受け取る。
	12 - 代替場所・協力先で、(最終工程・仕上げ、組立等)業務を再開する。
	13 - (最終工程・仕上げ、組立等)業務終了後、部品検査業務を外注・協力業者( )に依頼する。
	14 - 外注作業の検査後の製品を受け取る。
	15 - 組立業務を再開し、組立し、出荷する。

並行して、既存製造ラインの復旧を実施する

## 復旧対応

チェック	復旧手順
	16 - 既存製造ラインのインフラ復旧・建築・設備業者( )が対応可能・復旧見込みを確認する。
	17 - 既存製造ラインの復旧に要するコスト、期間を確認する。
	18 - 既存製造ラインの復旧費・必要なコストを盛り込んだ収支計画書を作成する。(重要)
	19 - 収支計画書に基づき、既存製造ラインをどこまで復旧するか検討し、復旧手配の範囲・手配先を決定する。
	20 - インフラ復旧・建築・設備業者( )に、被害状況を伝え既存製造ラインの修理を依頼する。
	21 - 関係先に現在の状況を報告する。
	22 - 担当者は、業務再開に向けて後片付け・必要な資源な資源を準備する。
	23 - 修理が完了次第、業務を再開する。
	24 - 業務再開した旨を取引先( )へ連絡する。
	必要なコスト 約 円